



細川 幸男 議員  
(無会派)

一括質問方式

# 国民年金支給額減額は、 老後破綻の要因にならないか

問……………

国民年金の支給額を0.7%下げられると、高齢者が受け取る年金額が少なくなる。市民が、汗水流して苦勞しながら永年にわたり税金や年金を払い、老後生計のために国民の義務を果たしてきた苦勞の結果が、掛け金無しの生活保護費より4割くらい少ない6万円程度の国民年金額では老後の生活が厳しくなると思うが、市長の考えは。

答……………

4月に施行される生活困窮者自立支援法に基づき、相談窓口を設置し、専門職員を配置する。専門職員を配置して、この新制度を活用しながら相談支援体制を一層充実させ、福祉部門のみならず関係部署や他団体との更なる連携を図りながら進めていく。



生活困窮者のための自立生活相談窓口が設置されます

# 放射能汚染対策の 状況について

問……………

当市の放射能被害は、しいたけ、牧草、野生動物に被害があったが、人身には影響なく、事故当時は、市民の生命財産を守るため懸命に働いていると聞き、感謝していた。しかし、事故から3年、今年の2月23日の聞き取り調査の際には、事故当時の真剣な取り組みは感じられなかった。現状の聞き取りの

答……………

放射能汚染対策については、市長を本部長とする対策本部を設置し、全庁をあげて対応している。また、市議会でも放射能汚染対策調査特別委員会を設置している。現在の空間放射線線量は、国の基準を大幅に下回り、規制解除に向けた除染作業を実施する。

中では、「他の地区では癌の発生が増えていると聞くが、本市では放射能汚染と因果関係はないか」と尋ねると、「被害届がない」「市が調査する義務、責務はない」「他市町村も調査は行わない」等、他市町村の事例で判断したような回答であったが、市長の考えは。

# 高校生への就学援助費 制度の創設を期待する

問……………

本市における「奨学金貸与制度」の中で、高校生の授業料の無償化に伴う奨学金貸与の現状や課題は。

答……………

高校生への奨学金制度は月額1万5千円以内となっているが、最近の実績は平成21年度4名、平成22年度及び

23年度は各1名、平成24年度から今26年度については申請がない。

授業料の無償化で、高校生への奨学金の貸与については見直しの時期に来ていると考えている。

問……………

「子育てするなら遠野」の施策を充実させるため、生活困窮世帯等への高校生に、奨学

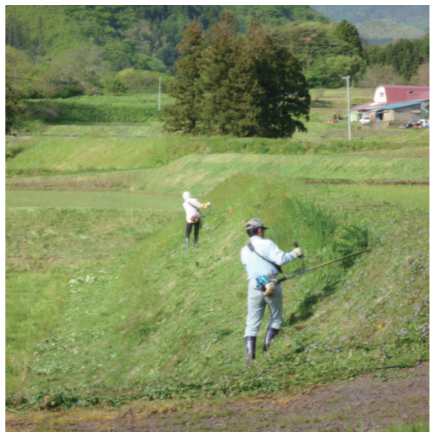
答……………

金から返済義務のない就学援助費制度の創設を提案する。

国の動向を注視するとともに、「子育てするなら遠野推進本部」で支援制度について検討を重ねており、次代を担う子どもたちの学びの機会均等を図るよう、支援策の充実に努めていく。



中山間地の農地を維持管理する水稻の共同防除作業



農村景観を維持する水田の法面の草刈り作業

問……………

効率性、経済性、市場原理を追求する今の国の農政は、中小零細農家の切り捨てにつながり、特に中山間地の農地の荒廃を招き、「永遠の日本のふるさと遠野」の農村環境や景観の保全に大きな影響が出て来ると思われ、その認識は。

答……………

農業は「いのちの産業」である。国の一律の政策はいかなるものか。成長産業として足腰の強い攻めの「産業政策」と、地域特性を生かし多面的機能の維持や国土保全を図るた

問……………

中山間地の農地のダム湖的淡水機能をはじめとする、多面的機能の果たしている役割の認識は。

答……………

中山間地域の農用地は、農作物の生産環境の場のみならず、洪水の防止や水源の涵養、土壌浸食の防止、大気の浄化、美しい農村環境の保全など多くの機能を有し、重要であると捉えている。



瀧本 孝一 議員  
(市民クラブ)

一問一答方式

### 【その他の質問】

- 生活困窮者自立支援制度の取り組みと学習支援等について